

災害を減らすために

使える技術はあるのか

〜何のための Society 5.0〜

12.17_土

14:00-15:30

成蹊大学4号館ホール

参加無料・事前申込制

定員 250名



お申込・詳細は
Society 5.0研究所ウェブサイトへ



(講演者)
酒井 慎一
東京大学大学院
情報学環・学際情報学府
教授



(司会者)
山野井 瞳
成蹊大学
理工学部 准教授

台風や地震などの災害に備え、新しい社会で活かせる技術を考える

これまで自然現象の解明を進めてきて、多くの知識を得ることができたが、それでも災害は起きてしまう。台風進路変更や地震発生抑止等、自然を制御することが困難だからである。ただ、どんな被害になりそうなのかは、ある程度予想できる。だったら、それに対応した準備をすべきである。まずは自然現象の把握からである。今、何が起きているのかを知ることで、次の安全行動の確実性や効果が増大する。最近の技術を十分に活かすべく、こんなことができたらいいのにという期待をこめたお話をする。



(講演者)

酒井 慎一

東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授

1991年 東京大学大学院 理学系研究科 博士課程 修了

1993年 東京大学 地震研究所 助手として就職

2020年 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授へ異動



(司会者)

山野井 瞳

成蹊大学理工学部 准教授

2010年 総合研究大学院大学 物理科学研究科天文科学専攻 博士後期課程 修了

2010年 国立天文台 HSCプロジェクト 研究支援員

2012年 国立天文台 ハワイ観測所 専門研究職員/特任専門員

2020年 一橋大学 情報化統括本部 情報基盤センター 准教授

2021年 成蹊大学 理工学部 准教授

日時

2022年12月17日(土)14:00～15:30(13:30開場)

対面開催中止の場合、オンラインライブ配信で開催いたします。

オンデマンド配信予定：2022年12月23日(金)～2023年3月31日(金)【別途要申込】

詳細は講演後に公式ウェブサイトをご覧ください。

会場

成蹊大学4号館ホール(東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1)

JR・京王井の頭線吉祥寺駅徒歩15分

関東バス成蹊学園前下車徒歩1分

参加費

無料・全席自由

申込み

事前申込制【12月17日(土)12:30まで受付】

下記QRコードまたは下記URLより公式ウェブサイトにアクセスの上、申込フォームにてお申込みください。

<https://www.seikei.ac.jp/university/sss/>

定員

先着250名 定員に達し次第、締め切らせていただきます。



Society 5.0研究所
公式ウェブサイト

成蹊大学 SSS

※新型コロナウイルス感染症が拡大した場合には大学ホールでの開催を中止し、オンラインライブ配信とさせていただきます。詳細は、公式ウェブサイトをご確認ください。



成蹊大学 Society 5.0研究所 (アジア太平洋研究センター内)

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1

<https://www.seikei.ac.jp/university/sss/>

Tel 0422-37-3549 ✉sss@jc.seikei.ac.jp